

福岡県版住宅リフォーム助成制度を提案します！



今回はまず、福岡県議会の一員として、中島孝之元県副知事が収賄容疑で逮捕されたことについて深くお詫びいたします。安心してできる共助社会の構築のため行政改革を断行し、財源の重点配分を行おうとしていた矢先に、このような後期高齢者医療制度を巡る利益供与問題というあってはならないことが起こってしまったことについて、本当に残念に思っております。

寒かった冬も桜のほころびと共に終りを告げ、季節はもう春。一年生の皆さんが、不安とやる気の入り混じった初々しい表情で新しい学校や職場に向かう姿が目に見えます。私も初心に帰って気持ちを引き締め、再発防止対策に努めていく所存です。

今期の新卒者の就職内定率は過去最低の水準で、今回の不況の深刻さを如実に表す結果となりました。景気や雇用を下支えするはずの公共事業も国の方針により大幅に削減されています。福岡県では、職員削減などまさに聖域なき改革案を打ち出し、財源不足の圧縮に努め、県債の減少も達成しております。国の方針に頼るだけでなく独自の景気対策に知恵を絞り、プレミアム付き商品券の発行などの試みも好評を得ています。しかしやは

り、税収減の影響はいかんともしがたく、現在の財政状況から考えると大きな予算を伴う景気刺激策を断行することはできません。

① 大きな予算を使わないこと
② 即効性があること
③波及効果が狙えること

この3点をクリアした策を早急に打ち出さねばなりません。実際に使う予算を上回る効果を得るためには、施策によって消費者の購買意欲を高め、民の力を引き出すことで、県予算以外のお金の動

月刊 脊 振

福岡県議会議員
(南区選出)
ひぐち明
県政活動報告誌



きを産むことが必要です。そして、即効性を狙うためには期限を設けることが効果的であり、波及効果を最大期待するには裾野の広い業種を対象とする必要があります。そこで私が3月議会で提案したのは、「福岡県版住宅リフォーム助成制度(仮称)」です。

建築業の力で景気を回復させる

裾野の広さでは随一ともいえる建築業を対象として住宅リフォーム助成の実施に乗り出した自治体は数多くありますが、いくら景気回復のためとはいえ、公金を投入する以上はその目的が公益に即しているべきだと思われれます。私の提案は、国で推進している住宅版エコポイントを踏まえつつ、その欠点といわれる消費者のメリットの不足感を補う形で、環境配慮型の住宅修繕に上乘せ助成を行うということ骨子にしております。また、国の住宅版エコポイントでは助成対象から外れている断熱性の高い塗料や消費電力の少ない電気、生活環境の保全には非常に重要な耐震診断や耐震改修などについても、この福岡県版助成では対象としてはどうかと思っております。

麻生知事からは、国の制度も景気対策に有効であると期待されるので、まずは県民の皆さんに周知し、活用してもらおうよう努力すべきではないかとの答弁をいただきましたが、私はやはり国の制度の即効性には疑問を抱かざるを得ません。最近の消費マインドの冷静さを考えると、省エネリフォームは概して工費が膨らみやすいのに対し、エコポイントによるメリットが小さく、不足とみなされる懸念があると思います。

3月1日から住宅版エコポイントの受付が始まりました。リフォーム工事の着工の急増に効果があればいいのですが、数ヶ月間受け付けの状況を見ても私の予想通り大きな効果がないようであれば、6月議会でも再度、福岡県版住宅リフォーム助成の制度化について質問しようと思えます。そのときこそ、麻生知事に首を縦に振って頂きます。

南区トピックス

国道202号福岡外環状道路、的場から野芥までの4車線化が完了しました。今年度内の全線4車線化を目指した計画ですが、福大病院や運転免許試験場周辺の混雑があるこの部分は1年前倒しで整備されたのです。慢性的な渋滞の緩和に期待が集まります。

水上バス構想、実現に向けて動き始めています

水上交通実現へ連絡協

福岡市で発足 事業者公募へ

福岡市が委託する那珂川沿いの交通網をまっぴら河川での公共交通の利便性の向上を図る。福岡市が委託する那珂川沿いの交通網をまっぴら河川での公共交通の利便性の向上を図る。福岡市が委託する那珂川沿いの交通網をまっぴら河川での公共交通の利便性の向上を図る。

来春運航へ現実味

課題整理や業者選定



福岡市の北東部に位置する那珂川沿い、事業者の水上バスを来春に実現させるべく、福岡市が委託する那珂川沿いの交通網をまっぴら河川での公共交通の利便性の向上を図る。

経済万華鏡

経済万華鏡 那珂川水上バス構想



那珂川水上バス実現にあたっての課題を整理し、まちづくりへの活用について検討を行うため、「那珂川水上交通連絡協議会(仮称)」が設立されました。3月31日の第一回会議では、九州大学の出口教授、国・県・市の関係各部の局長、商工会議所専務理事らそうそうたる方々が一同に会して、非常に前向きで意欲的な意見を交わされており、来春の実現も夢ではなさそうです！

右上:西日本新聞3/31、左上:毎日新聞4/7 右下:KBCニュースピア2/21

ひぐち明のあきらめないブログ 暴力団追放パレード



小倉南区の暴力団追放決起集会に出席してきました。これは工藤会の新たな事務所が、なんと幼稚園の目前、そばに小学校もあるような住宅街できたことに対する反対運動の一環です。4月1日の福岡県暴力団排除条例で学区への事務所開設が禁止されるため、駆け込み開設でしょう。関係者一同歯噛みするような思いで、警察や地域が一体となって暴追運動を行っておりますが、今月15日には、地元運動のリーダーの方のご自宅に銃弾6発が撃ち込まれるという事件も起こっています。

ひぐち明略歴

福岡南博(なんぱく)幼稚園卒園 福岡市立春吉小学校卒業 福岡市立春吉中学校卒業 東福岡高校卒業 カナダ合衆国州立コンコーディア大学中退 国会議員秘書・設計会社社員を経て、2007年4月福岡県議会議員に再選・2期目

〈主な役職〉 福岡県議会 警察常任委員会委員長 福岡県議会 空港対策調査特別委員会委員

- ◇昭和45年10月15日生まれ
◇39歳
◇てんびん座・O型
◇家族構成 妻・長男

